

# 經濟論叢

第六十一卷 第一號

---

わが國民生活と封建制度……………堀江保藏

農業立國論批判……………山岡亮一

アンウィン『十六・七世紀の工業組織』……………堀江英一

共同研究

—— 絶體主義をめぐる ——

---

京都帝國大學經濟學會

る(一九四三年稿)。

※著者は市場の直接的接觸から隔離され乍らも、なほその職業に必要な工業資本の大部分をもつ手工業者を「小親方」とし、これを使用する資本を trading capital とし、兩者の關係を domestic system と總括する。そして工業資本をもたざる手工業者を wage-earning master とし、これを使用する資本を industrial capital とし、兩者の關係を近代的に解する。かくして、既述した如き Court of Assistant (= governing body) = trader (= merchant employer) と Purely industrial interest との對立、Purely industrial interest 内部における製造業者と「職人」および「賃銀稼ぎ親方」との對立、そして結局は trader と製造業者とは妥協して Court of Assistant を構成して職人および「賃銀稼ぎ親方」と對立する。ギルド内部における支配階級の貴族統治主義 (Cohworker は Genesis 論をもつて Weaver は Case of Corporation 論をもつてそれを擁護) と「小親方」階級の産業民主主義 (Weaver は Social Compact 論をもつて Founder は Law of Nature and Jus gentium 論をもつてそれを擁護) との對立はかゝる階級對立の思想的表現である。

かゝる對立は必然的に tradesman = 市會の「小親方」および職人のコーポレーション反對と「小親方」および職人のコーポレーション要求となつて表れ、後者の「秘密結社」となる。ギルドの最終段階たるこの「秘密結社」こそ勞働組合の端初段階である。

本號執筆者紹介

- 堀江保藏 京都帝國大學教授
- 山岡亮一 京都帝國大學助教
- 堀江英一 京都帝國大學助教

京都帝國大學經濟學會役員 (五十名順)

評議員長 靜田均  
評議員 青山秀夫  
岸本誠二郎  
佐波宣平  
靜田均  
島恭彦  
田杉競  
出口勇藏  
豐崎稔  
中谷實  
穂積文雄  
堀江英一  
堀江保藏  
松井清  
山岡亮一

昭和二十二年七月一日發行

實價金拾五圓

郵税 壹圓貳拾錢

編輯兼  
發行人

松尾哲彦  
京都市左京區田中里ノ内  
町一三

印刷人

鈴木直樹  
京都市中京區壬生花井町  
三

印刷所

日本寫眞印刷株式會社  
京都市中京區壬生花井町  
三

發行所

京都帝國大學經濟學部内  
京都帝國大學經濟學會  
振替口座大阪五〇五三九番  
日本出版協會會員  
番號B一一一〇五六號

發賣所

有斐閣  
本店 東京都千代田區神田  
神保町二丁目十七番地  
電話九段㊟一〇三三二番  
振替口座東京三七〇番

支店 京都市左京區吉田  
牛ノ宮町三番地

配給元

日本出版配給株式會社  
東京都千代田區神田  
淡路町二丁目九番地

本誌の購讀及び廣告はすべて有斐閣へ申込まれるべし

(禁轉載)

